

東部ひろば

防災は日頃の備えから

―初めての試み防災緑地で「防災祭」―



東部地区「防災祭」は、防災緑地で9月8日(土)に大勢の参加をいただき盛大に開催されました。

目的は、防災意識の高揚を図ると共に東部地区防災緑地の認知度を高めることです。運営は、オール団体が組織し



参加した地元の一志町会長(東町1)は、「近隣ばかりでなく幅広い地域でこの場所を認識していただいた。一時避難場所に防災訓練の場として今後も活用していきたい。」と話していました。

た体制で臨み、活性化を図ると共に住民の多くの参加を目指しました。

事業内容は、松本市消防団第1分団のご協力による消防車の展示や業者による防災用具の展示、野菜の激安市にヨーヨー釣りや輪投げ、先着限定のドラム缶ピザやかき氷の振る舞いなど盛り沢山。子どもから大人まで楽しみました。

いつまでもお元気で ―敬老の日・敬老行事―

9月17日(月)は敬老の日です。「国民の祝日に関する法律」では、敬老の日を9月の第3月曜日とし、「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日」としています。地区内の町会でも様々な敬老行事がおこな

われました。高齢化は国内外問わず進行していますが、こういった機会を通じて、これまで地域を支えてきてくださった皆様への感謝の気持ちを忘れないようにしたいものです。

■東部地区町会別75歳以上人口 平成30.9.1現在

町会名	男性	女性	合計
清水東	63	107	170
清水中	30	40	70
清水西	18	23	41
片端町	17	29	46
出居番町	5	11	16
東町1丁目	9	20	29
東町2丁目	6	12	18
東町3丁目	12	16	28
鍛冶町	6	8	14
餌差町	10	23	33
桜町	28	40	68
下横田町	23	38	61
南上横田町	7	19	26
葎町	9	14	23
合計	243	400	643

■東部地区高齢化状況 平成30.5.1現在

地区名	総人口(A)	65歳以上人口(B)	高齢化率(B/A)
松本市	239,757	66,092	27.56%
東部地区	3,286	1,135	34.54%

百歳おめでとうございませ



杉田 富子さん(桜町)

大正5年4月生まれ。生まれは巾上で、昭和16年の結婚を期に東部地区へ引っ越ししました。以前は老人大学やマレットゴルフに励み、今でも福祉ひろばのサークル「四方山会」を楽しみに歩いて来ているそうです。

笑いはじけるあづみの公園

子ども会育成つぼみの会バス研修会



子ども会育成つぼみの会は 8月26日(日)に恒例のバス研修を行いました。バス2台、一行40名で公民館を9時に国営アルプスあづみの公園(堀金・穂高地区)に向かいました。当日は台風一過、とても良いお天気で北アルプスや美ヶ原がきれいに見ええました。現地に着き地図とお弁当を受け取りそれぞれの目的のゾーンに向かいました。大変暑い日でしたが幸い事故もな

目指せきれいな川 多いタバコや缶のポイ捨て

7月31日(火)夕方より環境衛生協議会と公民館の共催で、目指せきれいな川と題した「女鳥羽川ゴミ拾い大会」を子どもから大人まで30名弱の参加をい

だいて開催されました。鍛冶橋から桜橋までの河川敷を歩きながらのゴミ拾い。予想に反し大きなごみやビニール袋は少なかつたものの、缶やタバコのポイ捨てが多いのに驚きました。マナーの厳守が求められます。



終了後は、夕暮れの河川敷にて夕涼みしながら懇親会(ドラム缶ピザ)で交流を深めました。参加した腰原環境衛生協議会副会長は「女鳥羽川とふれあう良い機会だった。今後も継続的に取り組みたい。」と話していました。

球技大会 良い汗流す



くご家族やお友達と楽しく過ごせたかと思えます。また、この研修を主催した地区役員やPTAをはじめと

したつぼみの会の皆様、本当にお疲れ様でした。町会連合会の主催による球技大会が開催されました。8月5日(日)アピナ城山ポウルで54名の参加、9月2日(日)アルプス公園さくら

コースで22名に参加いただき汗を流しました。今年は例年開催のソフトバレー・卓球大会からマレットゴルフに替えて実施しました。日頃の運動不足解消あるいは精進の成果を披露する場として、また地区の皆さんの親睦の場として大いに盛り上がりしました。

【ボウリング】

優勝 穂高 明彦さん

スコア 327(2ゲームトータル)

【マレットゴルフ】

男子優勝 佐野 展角さん

スコア 54

女子優勝 村上 康子さん

スコア 61

我がまち自慢 スポーツで老後をいきいき

清水東町会 村上 敏夫さん

清水東町会体育部長の村上敏夫さん(78歳)にスポーツに対する意気込みをお聞きしました。

「スポーツを始めるきっかけは子どもの頃から近くの山へ、山菜取りに出かけていた

ので、自然にあらこちらの山登りへと発展していきまし

た。松本の寿地区に生まれ育ったので、寿中学の同期生とは今も一緒に「山城史跡ウォーク」を続けています。今最も力を入れているのは町会の体育部長をして10年

になります。月1回の町会主催マレットゴルフの他、ボウリングやウォーキングにも携わっています。また、東部地区の体育事業についても、地区の体育部長として取り組んでいます。

50代の頃からフォーケダンスに親しみ、その後スクエアダンスの魅力にはまり、公認指導者の資格(アンバーサリ)をとって18年になります。このダンスは全国組織なので、指導者会議のため、全国を飛び回っています。

「スポーツの効能について運動が健康に良い事は、今では誰でも知っています。私もスポーツのお蔭で多くの知人友人を得、心身共に病気を

する暇もないほど忙しく過ごしています。四季折々の自然に恵まれた信州に生まれ育ち、人や恵みを満喫しておられる中で、これからもスポーツを通しての仲間作りや、心身の健康づくりを推進していきたいと意気込んでおられました。

「スクエアダンス山ゆりの会」当初からのメンバーになっておられる奥様(康子さん)の理解と協力があってこそその村上さんのご活躍と御見受けしました。



仲間との登山(右)